

大草谷津田いきものの里 自然観察会

あつまれ、葉っぱ探偵！

和仁道大（千葉市）

日時：2012年5月20日（日）10：30－12：00 天候：晴

参加者：20名（男6名、女8名、子供6名）

担当指導員：松本美千代、和仁道大

2011年11月6日に大草で「変な葉っぱを探そう」という自然観察会を実施した。今回はその続編で季節を変えてやってみた。葉っぱ探偵というのは植物的に変わった葉っぱを探すのが目的ではなく、

- ① 穴があいた葉ではどんなムシが食べたのか
- ② ブツブツ膨れた葉っぱは誰の仕業か
- ③ 丸まった葉は誰が巻いたのか
- ④ 字のような模様がある葉っぱは？
- ⑤ 一見葉っぱに見えるが実は？

以上のように葉っぱを通してムシを観る観察会である。

- ① ムシに食われた葉っぱは数多く見られ、ギシギシの葉っぱにハグロハバチの幼虫やコガタルリハムシが見つかった。スダジイの葉っぱにはサシゲチビタマムシ、ウラシマソウやニワトコの葉にハバチの幼虫がいた。

圧巻はサルトリイバラの葉っぱにルリタテハの幼虫が3匹見つかったことで、参加者一同歓声をあげた。

- ② ブツブツ膨れた葉としてシロダモの葉っぱが見つかったが、犯人のシロダモタマバエは見られなかった。
- ③ 巻いた枯葉が地上20cm位にクモの糸にぶら下がっていた。勇気のある子供に巻いた葉っぱをそっと開いてもらうと中からハツリグモが現れた。
またこの時期にはオトシブミの巻いた葉っぱを期待したが、本番では見られなかった。
- ④ 字模様のある葉っぱはキツタやエノキの葉で見つかったが、ジカキムシの現行犯は居なかった。
- ⑤ 一見枯れた松葉がぶら下がっているように見えるものを棒で触れると8本の脚が現れ、オナガグモに変身して一同びっくり。
- ⑥ 番外編で本物のへんな葉っぱとして、葉っぱの中央に花をつけたハナイカダが見つかった。

以上のように葉っぱを通してムシを観る企画は「虫愛ずる姫」こと松本美千代さんの提案であったが、私たち指導員の教科書である「自然観察ハンドブック」に「へんな葉っぱを探す」というテーマがあることを私は最近見つけた。松本さんはこの本のことをまったく知らずにこのテーマを発想したが、初心に戻って自然観察ハンドブックを見直すことも有意義かも。



サルトリイバラの葉の裏にいた
ルリタテハ幼虫(木下順次氏撮影)